恐山の女（1965）

メディア 映画
ジャンル ロマンス　ドラマ
製作国　日本
色彩　B&W
時間　98分
初公開日 1965/10/30
公開情報 松竹

【解説】
　小説現代に掲載された小川元の『霊場の女』を、堀江英雄が脚色し五所平之助が監督。不幸な運命に翻弄される一人の女性の悲劇を描く。
　貧しい漁村に生まれたアヤ子は、父が病に倒れ兄が亡くなったため、七福という名の遊郭で働くことになった。アヤ子はすぐに材木屋の山村勘助に水揚げされるが、数日後にやってきた童貞の戸田勘二郎に心惹かれる。しかし勘二郎は、他家に養子に出されていた勘助の次男だった。勘二郎が出征している間にアヤ子のもとを訪れた勘助は腹上死、そして勘二郎は戦地で上官を殺害し自殺してしまう。二人の墓参りをしたアヤ子は、勘助の長男である勘一と出会った。世間ではアヤ子を「男殺しの女」と噂しており、勘一はその噂の反発しアヤ子と付き合うことにする。

【クレジット】
監督　五所平之助
製作　島津清
原作　小川元
脚本　堀江英雄
撮影　篠村荘三郎
美術　平川透徹
音楽　池野成
出演　吉村実子
　　川崎敬三
　　殿山泰司
　　寺田農
　　東野英治郎
　　富永美沙子
　　菅井きん

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.